

愛媛県



野島城

今治城

松山城

湯築城

大洲城

高知県

高知城

河後森城

宇和島城

79 今治城

--- 100名城 ---
2022.05.15



別名: 吹上城、吹揚城、美須賀城

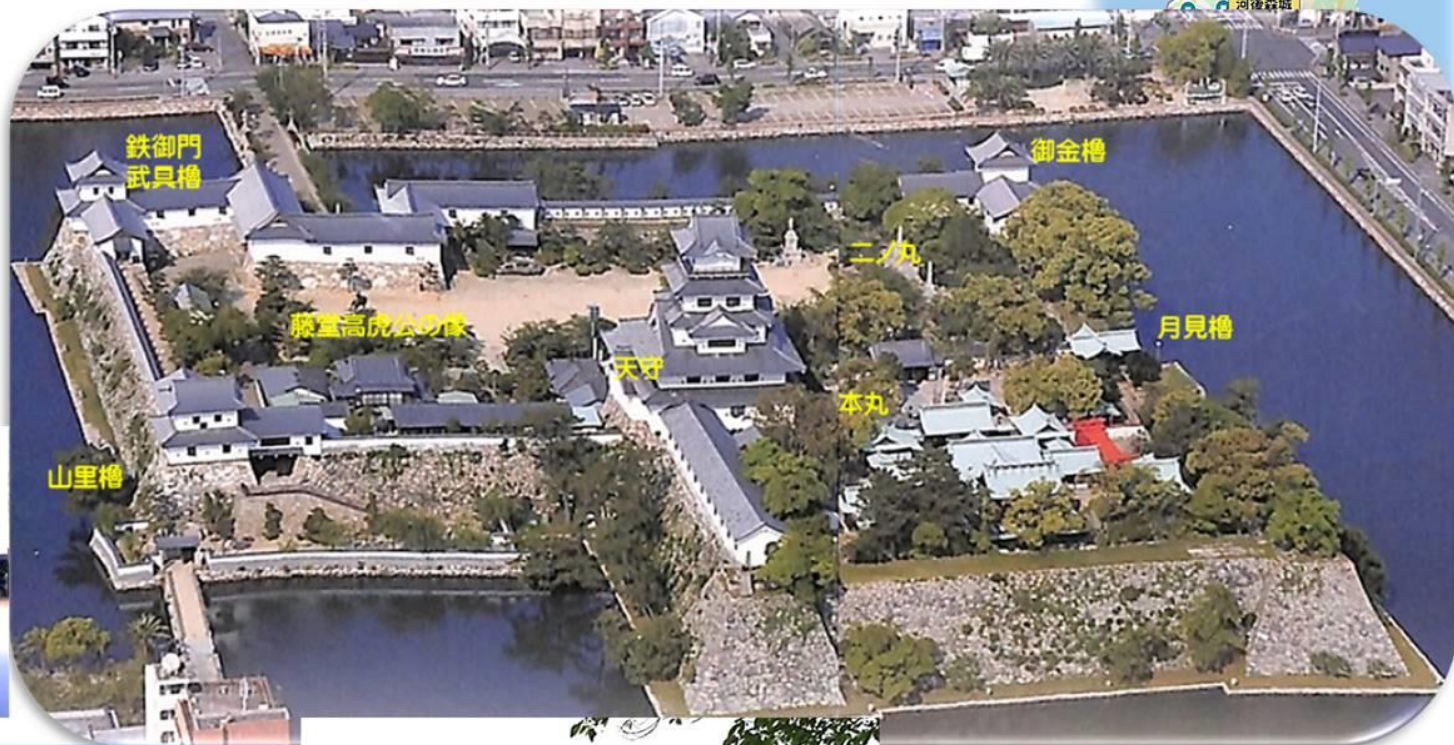
FB-116



1604年、藤堂高虎によって築城。以前の今治の支配拠点、唐子山山頂にあった国府城でありましたが、より能率的な都市経営を目指すため築城されました。堀に海水を引き入れた特異な構造で、海を最大限に活用した城となっています。日本三大水城の一つに数えられ、石垣と内堀がほぼ江戸時代の姿を残しています。

愛媛県(7城もあります)最初のお城は今治城です。再建とはいえ4つの櫓までも再建されており、力の入れようが伺われます。

福井もりつばなお堀と石垣があるのでここまでとは言いませんが是非とも再建してほしいものです



瀬戸内の名城 今治城



亀山城本丸南面(1872年撮影)



今治城再建天守

往時の天守は亀山城に移築されたと伝えられ、再建天守は、当初の建築の実在について明確な資料が少ないため、史実に基づかない模擬天守である。



天守最上階より

80 湯築城跡

ゆづき じょうせき

--- 100名城 ---

2022.05.16



別名:湯月城

湯築城は、伊予国守護・河野氏が南北朝期に建て居城とした。しかし、1585年の秀吉の四国攻めで小早川隆景に降伏・開城。その後、福島正則が入るもすぐに国府城へと移り、廃城となる。この松山市には日本100名城が2つもあり、この湯築城の西側の丘陵(下地図)に松山城が聳え立っています。羨ましい限りです！

湯築城跡は松山城から歩いて15分程で到着です。道後公園として整備されており、中央に丘陵、周囲には二重の堀と土塁を巡らせた平山城で、南北350m、東西300mの当時の縄張りがほぼ残っています。南西側に湯築城資料館、北側には子規記念博物館があり、少しアカテミックな気分になりながら、ゆっくりと時間をかけ周囲の散策を楽しみました。



FB - 117



復元武家屋敷と丘陵

シオラマ

81 松山城

--- 100名城 ---
2022.05.16



別名:金亀城、勝山城

先の湯築城跡同様公園内丘陵(城山公園・標高132mの勝山山頂に築)に築城されていますが、こちらは規模が段違いで四国最大規模を誇っています。天守は、関ヶ原の戦い以降に作られるようになった「層塔型天守」。本丸を山頂に配し、二の丸、三の丸を含め、城山公園全体が城郭となっています。また、各地に松山城と呼ばれる城が多数存在するため「伊予松山城」と呼ばれることもあります。



登城へはリフトとロープウェイがあります。山頂の広大な敷地が本丸で、裾野に二ノ丸・三ノ丸があるレイアウトです。

徳川時代になってからの築城のためか、城の中核は二の丸で、藩主の生活の場である御殿や庭園、茶室などがあつた。三の丸には身分の高い家来の屋敷が建ち並んでおり、何と!! 本丸は主に倉庫として使われていました。



本丸全景



グーグルマップ



連立式天守 (渡り檜で連結)
天守・小天守・南隣櫓・北隣櫓

ガイドブック

82 大洲城

おおす じょう
--- 100名城 ---
2022.05.17



別名: 地藏ヶ嶽城、比志城、大津城 (大洲の旧称)

大洲の地は、歴史的にはやや鄙びた立地ながらも交通の要衝と言える場所にありました。江戸時代初期、藤堂高虎らによって修築がなされ、近世城郭としての体裁を整えた。明治維新後から現在に至る地元住民の保護活動により2004年に主に市民による寄付によって忠実に復元しました。江戸時代から残る台所櫓・南隅櫓など4棟の櫓が国の重要文化財に指定されています。



FB - 119

明治21年に老朽化と構造欠陥により解体されたものを平成16年に(市民による寄付によって)伝統工法での復元、地元住民の強い素晴らしい愛着を感じます。

この復元で面白い出来事があります。それは最近発見されたことで、棟梁と大工の遊び心から(周りの人は知らない事だったのですが)、何と梁の上にネズミをかたどった木彫り人形が隠されていたことです。下からは見えません。このことは、棟梁が地元ローカルTV出演した際に大洲城の秘密として暴露したそうです。



撮影: 源田 昭博さん



DigitalDaiku
2D城郭データ(画像)



大洲城築城ジオラマ
Georama of Construction Site

83 宇和島城

--- 100名城 ---
2020.05.17

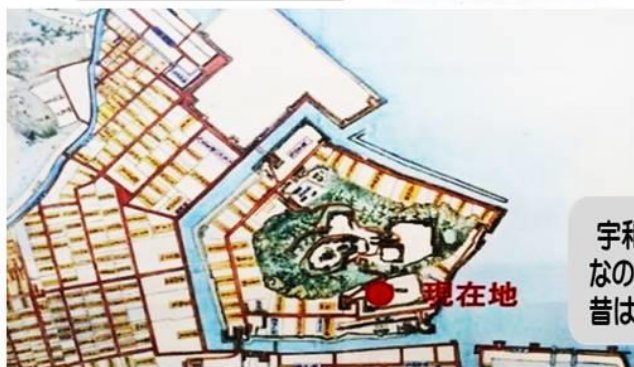
別名: 鶴島城



宇和島城(旧板島丸串城を増改築)の初代城主は名築城家としての名を轟かせていた藤堂高虎です。
今までに、中国毛利攻めや賤ヶ岳の戦いで軍功を上げ、1595年宇和郡の領主になって初めて自分の居城としての城を造ったわけです。
縄張(設計)は四角形に見えるよう仕掛けられた城郭で、空から見ると城の外郭がいびつな五角形をしています。五角形の城郭を四角形に見せかける「空角の経始」(あきかくのなわ)と呼ばれる縄張りです。四角形だと思っていた敵にとって、一辺が死角となるために空きが生じ、攻撃が手薄になります。



FB - 120



宇和島は松山と違って、南国風的な感じがしたのは、お城が「海城」ということなのかもしれません。今でこそ町のど真ん中の丘陵の上にお城がありますが、昔は海を見廻しての監視など想像しますと面白いものです。

当時は海に面していた「海城」であり、海水を引き込んだ堀もめぐらされていました。絵図のように、まるで島のように海に浮かぶ様子がわかります。また、城郭のカタチが不等辺五角形という、一見するとアンバランスなつくりになっています。



宇和島城保存整備事業の看板
宇和島城全景(山城部)のイメージ図



#がんばろう宇和島

178 能島城跡

のしま じょうせき

--- 続100名城 ---

2022.05.15



別名：能島水軍城

能島城は「日本最大の海賊」と称された三島村上水軍のひとつで、村上雅房によって築かれた水軍城です。周囲約1kmほどの能島とその南にある鯛崎島で構成されています。細い海峡の離島に築かれ、潮流が激しく、行き交う船から銭を取って水先案内していました。1588年に豊臣秀吉が出した海賊停止令(海賊鎮圧令)により、能島城は廃城となりました。



能島城へ行くには大島にある村上海賊館からの遊覧船になります。土日祝日予約運航で最小10人未満は運休です。

北海道の遊覧船沈没事故あとだけに多少の緊張感がありましたが、幸いにも穏やかな天気でワクワクしながらの乗船と能島城への登城ができました。

グーグルマップ



能島城跡

能島城クルーズVTR



村上海賊ミュージアム前展示の海賊船



↑城跡碑・・・↓能島上陸(南部平坦地)



能島城 (村上海賊ミュージアム展示絵画)



179 河後森城跡

かごもり じょうあと

--- 続100名城 ---
2022.05.17



別名：川御森城

河後森城は、四万十川の支々流・堀切川/鬮川に囲まれた馬蹄形の独立丘陵上にあります。山頂の本郭を中心に、二段・三段の平坦地と古城～本城～新城と馬蹄形に曲輪が設けられており、馬蹄の中央は風呂ヶ谷と呼ばれる谷戸となっています。川原淵殿と呼ばれた渡辺氏が代々の居城とし、その後当地を治めた藤堂高虎は当城の天守を移築して板島城（現宇和島城）の月見櫓にしたといいます。



最寄りの松丸駅（JR予土線）は1日8本の田舎の駅ですが、モダンな駅舎と洒落たティーゼルの運行などで、町おこしの活気が感じられます。城跡もきれいに整備されており、気持ちよく見学してきました。※予土線は「しまんトロッコ号」や「ミニ新幹線車両」など趣向を凝らしたオモシロ列車で有名だそうです。

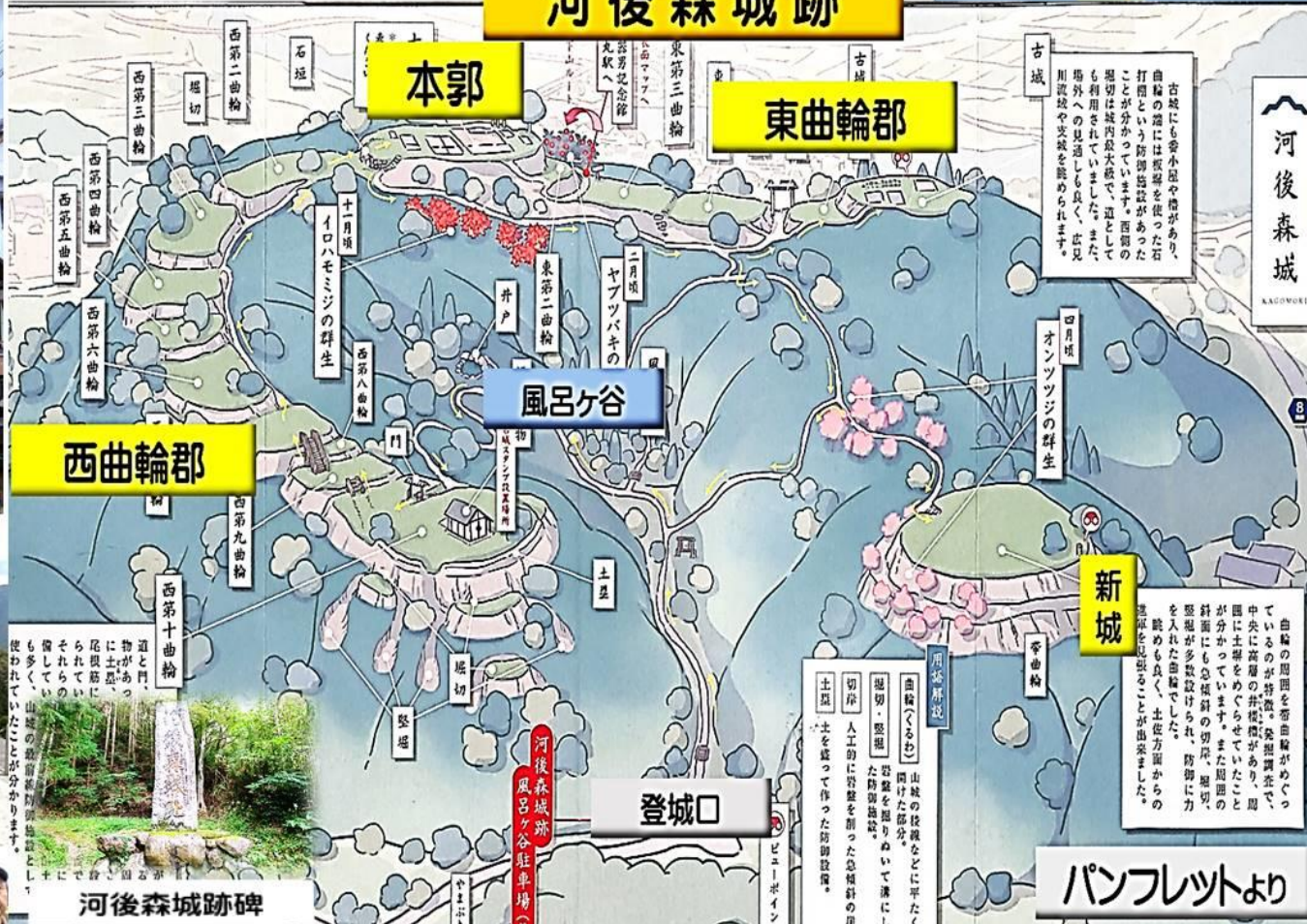
松丸駅舎



しまんトロッコ号

ミニ新幹線車両

河後森城跡



本郭

東曲輪郡

西曲輪郡

新城

風呂ヶ谷

登城口

パンフレットより



本郭に復元された主殿舎と武家儀礼の様子

河後森城跡碑